

☆ 9月 11日(月)定期考査最終日に防災教育講演会を開催しました。講師は岩手大学教職大学院 特命教員の高橋和夫先生でした。先生は東大震災津波当時の本校の校長でした。震災から6年、記憶が曖昧になっていく中、震災当時いったい何が起きていたのか、もう一度自分たちの中で振り返る契機となりました。





高橋先生から「休日のある日、安渡地区近くに住んでいるあなたは、友達と二人でマストへ買い物に自転車で出かけました。旧役場付近を走っているとき大きな地震が発生し、まもなく大津波警報が発令されました。自宅には、寝たきりの祖母だけがいます。その時、あなたはどうしますか？」という質問がありました。生徒は自身の身近な問題として受け止め、真剣に答えを考えていました。



最後は生徒の謝辞で終了しました。